

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2020年9月）議事録

日 時：2020年9月23日(水) 午後5時30分～6時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、太田 真、

大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、小山勝弘、

下光輝一、新開省二、須田和裕、須永美歌子、

竹森 重、田中喜代次、中里浩一、永富良一、

成田和穂、浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、

和気秀文各理事、

井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長

欠席者：井福裕俊、宮川俊平各理事、小林康孝監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録の内容確認を本日の理事会開催中に行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、会議終了時までに訂正等がなかった場合、自動的に承認されることにした。

2. 理事会開催日程について（鈴木理事長）

資料に基づき、今後の理事会日程案が提示され、以下の通り2021年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2020年11月20日(金)
- ・2021年2月19日(金)
- ・2021年5月21日(金)
- ・2021年8月27日(金)
- ・2021年9月16日(木) ※第76回三重大会前日

3. 編集委員会 剽窃検出ソフトの導入と掲載費（Article Processing Charge）免除制度の創設について（後藤編集委員長）

資料に基づき、剽窃検出ソフトの導入と掲載費（Article Processing Charge）免除制度創設の提案がなされ、出席理事全員の賛成により承認された。

1) 剽窃検出ソフトの導入（JPFSM）

文部科学省が特定不正行為の1つとして挙げている「剽窃」を検出するソフトを導入する。J-STAGEのEditorial Managerでは「Similarity Check」という剽窃検出ソフトが利用可能（1回あたり0.65米ドル）。

昨年度1年間の実績ベース（JPFSM, 2019.9.1～2020.8.31, 68編）では、1回0.65米ドル（70円位）として、1編の原稿を1回のみチェックすると約70円×68編（昨年度JPFSM実績）=4,760円
投稿原稿が増え、かつ為替が円安に振れても、年間1万円もあれば導入可能。

体力科学にも導入可能。ただし、日本語の利用実績は少なく、検出精度もそれほど高くない。両雑誌に導入しても、年間2万円未満。

※当面の運用

1. 当面は、剽窃検出ソフトを使用していることを明示することでの予防効果を狙う。

2. 類似性が高い原稿があった場合は、査読前に編集者が要注意原稿として注意深く確認をする。

3. 当面は、参考値としてのみの取り扱いとして、本学会としてデータを収集・解析して、著者に対応をお願いする数値を決定する。

2) 掲載料免除制度

オープンアクセスジャーナルのホワイトリストであるDOAJ（Directory of Open Access Journal）掲載の条件に、発展途上国などの国の著者から投稿原稿に対して、掲載費（Article Processing Charge：APC）の免除制度の設定がある。そこで、JPFSMとして下記のリストにある国々からの投稿（第一著者および責任著者）された原稿が掲載された場合には、APCを免除する。

"Group A" Research4Life country

(2020年9月15日現在)

- Afghanistan
- Angola
- Bangladesh
- Belize
- Benin
- Bhutan
- Burkina Faso
- Burundi
- Cambodia
- Cameroon
- Cabo Verde
- Central African Republic
- Chad
- Comoros
- Congo
- Côte d'Ivoire
- Democratic People's Republic of Korea
- Democratic Republic of the Congo
- Djibouti
- Equatorial Guinea
- Eritrea
- Eswatini
- Ethiopia
- Gambia
- Ghana
- Guinea
- Guinea-Bissau
- Haiti
- Kenya
- Kiribati
- Kyrgyzstan
- Lao People's Democratic Republic
- Lesotho
- Madagascar
- Malawi
- Mali
- Marshall Islands
- Mauritania
- Micronesia (Federated States of)
- Mozambique
- Myanmar
- Nepal
- Nicaragua
- Niger
- Papua New Guinea
- Republic of Moldova
- Rwanda
- Samoa
- Sao Tome and Principe
- Senegal
- Sierra Leone
- Solomon Islands
- Somalia
- South Sudan
- Sudan
- Syrian Arab Republic
- Tajikistan
- Timor-Leste
- Togo
- Tokelau
- Tonga
- Tuvalu
- Uganda
- United Republic of Tanzania
- Vanuatu
- Yemen
- Zambia

• Liberia

• Zimbabwe

(2018年 $46 \div 93 = 0.49$) (2017年 $45 \div 92 = 0.49$)
(2016年 $28 \div 116 = 0.24$) (2015年 $16 \div 140 = 0.11$)

【報告事項】

1. 各種委員会報告

鈴木理事長より、本理事会終了後、引き続き評議員会兼社員総会が開催され、各種委員会報告がなされることとなっていたため、2020年8月28日の理事会に於ける各種委員会報告以降に生じた、新たな報告事項があれば、この理事会にて報告していただくよう、依頼があった。その結果、編集委員会報告のみとなった。

・編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、報告がなされた。

仮想インパクトファクター

（クラリベイト・アナリティクス社調べ 2020.8.27）

2019年に引用された回数20回／2017年～2018年に

掲載されたすべての論文数86編

「JPFISM誌」 $20 \div 86 = 0.23$

2. 第76回（三重）大会の進捗状況（加藤第76回大会長）

資料およびパワーポイントを用いて、大会の準備状況と大会概要等が報告された。

会 期：2021年9月17日（金）～19日（日）

会 場：三重県総合文化センター

テーマ：「知の継承と共有」

尚、例年評議員会兼社員総会終了後に次年度の大会会長による挨拶を頂いているが、第76回大会会長の加藤公先生の都合により、ここで挨拶された。

3. 第77回（栃木）大会の進捗状況（武政総務委員長）

コロナ禍のため、第77回大会（栃木）会長候補者との直接面談が行われておらず、2020年11月初旬頃にお会いする旨、報告された。